日本中国語学会第 67 回全国大会プログラム

2017 年 11 月 11 日（土）、12 日（日）中央大学多摩キャンパス

Ⅰ．前日　　11 月 10 日（金）

16:00～18:00　理事会（中央大学多摩キャンパス 1 号館本部棟 4 階 1408 会議室）

Ⅱ．第 1 日　　11 月 11 日（土）

10:15～11:45　評議会（3 号館 4 階 3455）

12:00～　受付（3 号館 3 階ロビー）

役員選挙投票（～16:45）

13:00～13:10　開会式（3 号館 2 階 3115）

開会の辞　日本中国語学会会長　木津　祐子

学会奨励賞授与

13:10～14:15　招待講演①（3 号館 2 階 3115）

汉语虚词框架词典编撰的方法论创新　暨南大学　邵　敬敏

14:15～15:20　招待講演②（3 号館 2 階 3115）

“吗”的分布验证、焦点排序及其疑问性质　暨南大学　赵　春利

司会　大阪産業大学　张　黎

【15 分間休憩】

15:35～16:40　招待講演③（3 号館 2 階 3115）

反复义“又、再、还、也”的句法语义特征　上海外国語大学　金　立鑫

司会　東京大学　杨　凯荣

※ 各講演時間には約 10 分間の質疑応答が含まれます。

16:50～17:50　総会（3 号館 2 階 3115）

18:10～20:20　懇親会（ヒルトップ'78　2 階食堂ラウンジ）

Ⅲ．第２日　　11 月 12 日（日）

9:00～　受付（3 号館 3 階ロビー）

9:30～11:10　分科会研究発表　午前の部（3 号館 2 階、3 階）

11:10～12:00　ポスターセッション（3 号館 2 階）

12:00～13:00　昼食・休憩（3 号館 2 階 3114）

13:00～15:55　分科会研究発表　午後の部（3 号館 2 階、3 階）

●ポスターセッション　11:10～12:00（3 号館 2 階 3209、3210）

1. 描述性致使—从词法和句法两面观之　北京大学　丁　丁

2. 从明清戏文到现代泉州方言表示能性的若干种语法结构的演变

	華僑大学	吕　晓玲
3. 光緒三十三年『京話実報』とその言語について	首都大学東京（客）	落合　守和
4. “所谓的动词重动句”的三种类型	九州大学（院）	陈　陆琴
5. 近代日本人による中国語口語文法書に見られる量詞の機能	関西大学（院）	盧　驍
6. 開始義を表す“V 上”“V 起(来)”“V 开”の比較研究―音声に関する様態描写を伴う場合について―	新潟大学（院）	郅　鴎
7. 複合趨向補語とその目的語の語順について	新潟大学（院）	陳　瑩

※ ポスターはセッション開始の 2 時間前より掲示することが可能です。

※ ポスターセッションではポスターを縮小印刷したプリント（A4 で 1 枚片面使用）を配布することができます。

※ 発表者は所定の時間内にセッション会場を離れることはできません。

●分科会研究発表

■第 1 会場（3 号館 2 階 3201）

9:30～11:10	司会	北海道大学	飯田　真紀
《客家社會生活對話》所見的時體標記「來」【有講評】		国立台湾師範大学	郭　維茹
客家話古型態變化的交替類型		中央研究院	江　敏華
臺中龍井方言的地理分布與語音變異		国立清華大学	陳　淑娟
13:00～14:40	司会	近畿大学	大西　博子
早期閩南語戲文中「可」的語意句法探索		国立清華大学	連　金發
闽东区方言的“肚子”和“肚脐”【有講評】		愛媛大学	秋谷　裕幸
兩種現代台灣閩南語怨懟語的構詞與語意		国立清華大学（非）	蕭　景浚
		台中科技大学	張　群
		台湾大学進学予備校	曾　思雯
14:50～15:55	司会	同志社大学	中西　裕樹
「北」、「國」兩字在漢語方言的特殊演變類型		国立中央大学	鄭　曉峯
從方言比較重新析論閩東方言韻變現象		国立中山大学	杜　佳倫

■第 2 会場（3 号館 2 階 3202）

9:30～11:10	司会	静岡大学	張　盛開
泰顺蛮讲内部异同比较研究		京都大学（院）	黄　沈黙
論海南閩語「把」字句之賓語		国立成功大学	李　惠琦
金門閩南語類別詞變異研究--從「奇 khia」或是「跤 kha」談起			
		国立清華大学	劉　秀雪
13:00～14:40	司会	放送大学	宮本　徹
從語言學角度重讀 17-19 世紀中日詩律文獻——以近體詩為例			

香港中文大学　蕭　振豪
等韻門法的日本化——以《韻學楷梯》為例　国立中正大学　曾　若涵
『海篇集韻大全』の「經史切韻音義」の音注について【有講評】
早稲田大学（院）　髙山　亮太

14:50～15:55　司会　青山学院大学　遠藤　光暁
“音区 register”在普通话韵律中的重要性　神戸大学　朱　春躍
北部呉方言の語声調における曲線声調の分布について【有講評】
山梨大学（非）　平田眞一朗

■第 3 会場（3 号館 2 階 3203）

9:30～11:10　司会　東京大学　吉川　雅之
重紐反切における一等上字について【有講評】　神戸市外国語大学（院）季 鈞菲
中古音韻尾の円唇・非円唇対立について【有講評】　大阪大学　鈴木　慎吾
韻圖果假二攝合流的漢語史意義　台湾東海大学　陳　筱琪

13:00～14:40　司会　首都大学東京　荒木　典子
否定副詞「休」的來源與用法探究【有講評】　国立台湾師範大学　王　錦慧
“上/下”的语法化路径及其理据分析　神戸市外国語大学（院）王　棋
從跨語言和跨方言的角度論倒置雙賓式之來源　国立清華大学　葉　瑞娟
国立清華大学　黃　漢君

14:50～15:55　司会　京都大学　松江　崇
上古中国語の一人称代名詞「我」と「吾」について　東京大学（院）　市原　靖久
基于“时间结构”的先秦汉语构句原则研究【有講評】　中国武漢理工大学　杨　海峰

■第 4 会場（3 号館 3 階 3351）

9:30～11:10　司会　文教大学　山田　忠司
近代中国における基礎医学伝播にみる単音節化用語について
立教大学（非）　松本　秀士
漢訳「国際公法要略」３種に見る法律新語の変遷と和製漢語の影響【有講評】
大東文化大学　藤本　健一
艾约瑟的汉语语法观研究【有講評】　関西大学（院）　斉　燦

13:00～14:40　司会　関西大学　李　佳樑
“要知道”的话语标记功能　名古屋大学（院）　朱　冰
“给我给”的话语标记化问题的浅析　神戸市外国語大学（院）王　琦
会話における中国語談話標識“其实”と“问题是”の文法化について
九州大学（院）　王　琪

14:50～15:55　司会　神戸市外国語大学　竹越　孝
關於對《醒世姻緣傳》中雙音節復合詞“照依”的考察　熊本大学（院）　石　亮亮

近代漢語副詞“喜得”研究　山東大学/熊本大学（院）
胡　玉華

■第 5 会場（3 号館 3 階 3352）

9:30～11:10　司会　関西大学　小嶋美由紀

量度形容词对举两字组的整合度高低及层级分布　上海師範大学/福山大学孔子学院
石　慧敏

论现代汉语两种状态形容词的语用功能差异－形容词重叠式和“很＋形容词”形式－
神戸市外国語大学（院）肖 海娜

“房子房子卖了，车车没了”について　神奈川大学（非）　青木　萌

13:00～14:40　司会　東京外国語大学　三宅 登之

“NP+V-着+AP”構文と“NP+V-起来/上去+AP”構文の比較研究
新潟大学（院）　鄭　瓊花

中国語における評価・見積もりを表す動補構造の Subjectivity と Subjectification――
［道具主語＋V-起来］を対象に――【有講評】　神戸市外国語大学（院）劉　洋

“V 起来”句与“V 得”句的语义功能研究　東京大学（院）　陳　玥

14:50～15:55　司会　富山大学　山田 眞一

コミュニケーションにおける人間関係の親密度による中国語フィラーの表出【有講評】
神奈川大学（院）　楊　洲

日本人小・中学生が旧満州国で学んだ中国語に関する研究–必修科目 20 年の実績–【有講評】
大阪市立大学（院）川村 邦夫

■第 6 会場（3 号館 3 階 3353）

9:30～11:10　司会　筑波大学　佐々木勲人

浅谈保留宾语被动句的语用功能－兼论与偏正结构主语被动句的差异－【有講評】
名古屋大学（院）　路　浩宇

处置式和被动式中“给 VP”结构的表意特征分析　関西学院大学　李　梦迪

“把”能动句的成立条件和语义特征－以影响性和主观性为中心－【有講評】
新潟大学（院）　杜　暉

13:00～14:40　司会　お茶の水女子大学　伊藤さとみ

“别”、“不”における視点と間主観性　大阪大学　中田 聡美

必要条件を成立させる機能を果たす文末の「了」について　新潟大学（院）　鄧　宇陽

“对举格式+的”中“的”的用法分析　大阪大学（院）　畢　鳴飛

14:50～15:20　司会　東京外国語大学　加藤 晴子

中国語における視覚動詞の試行相文法化の展開　大阪市立大学　山崎 雅人

※ 1 発表あたりの持ち時間は、発表 20 分、質疑応答 10 分です。【有講評】の場合は発表 15 分、講評 3 分、回答 2 分、質疑応答 10 分となります。

※ 各発表の間に教室間の移動用に 5 分間の休憩を設定してあります。次の発表者のパソコン調整のためにも必要ですので、定時進行にご協力をお願いします。

※ 会場における追加資料の配付は認められておりません。

●分科会研究発表タイムスケジュール

	第 1 会場 3201	第 2 会場 3202	第 3 会場 3203	第 4 会場 3351	第 5 会場 3352	第 6 会場 3353
司会	**飯田真紀**	**張盛開**	**吉川雅之**	**山田忠司**	**小嶋美由紀**	**佐々木勲人**
9:30-10:00	郭維茹	黄沈黙	季鈞菲	松本秀士	石慧敏	路浩宇
10:05-10:35	江敏華	李惠琦	鈴木慎吾	藤本健一	肖海娜	李梦迪
10:40-11:10	陳淑娟	劉秀雪	陳筱琪	斉燦	青木萌	杜暉
11:10-12:00	ポスターセッション					
12:00-13:00	昼食・休憩					
司会	**大西博子**	**宮本徹**	**荒木典子**	**李佳樑**	**三宅登之**	**伊藤さとみ**
13:00-13:30	連金發	蕭振豪	王錦慧	朱冰	鄭瓊花	中田聡美
13:35-14:05	秋谷裕幸	曾若涵	王棋	王琦	劉洋	鄧宇陽
14:10-14:40	蕭景浚	髙山亮太	葉瑞娟	王琪	陳玥	畢鳴飛
司会	**中西裕樹**	**遠藤光暁**	**松江崇**	**竹越孝**	**山田眞一**	**加藤晴子**
14:50-15:20	鄭曉峯	朱春躍	市原靖久	石亮亮	楊洲	山崎雅人
15:25-15:55	杜佳倫	平田眞一朗	杨海峰	胡玉華	川村邦夫	―

※ 共同発表の場合は筆頭発表者のみを表示しています。

●書店展示　　3259, 3260

●参加方法

事前登録は不要です。

（1）参加費（予稿集代を含む）　　3,000 円

（2）11 月 11 日（土）懇親会費　　一般　　4,000 円

　　院生・学生　3,000 円

（3）11 月 12 日（日）昼食弁当代　　1,000 円

※ 11 月 12 日（日）の昼食弁当は 11 月 11 日（土）に引換券を前売りします。売り切れの場合はご容赦下さい。最寄りの駅にコンビニはありますが、会場周辺に飲食店はほとんどありません。引換券をお買い求めでない方は、ご自身で 12 日の昼食をご用意下さい。

※ 開催期間中の託児室については、運営の概要と申込方法が学会ウェブサイトに掲載されておりますので、その方法に従ってご利用下さい。

※ 予稿集を 2 部以上購入したい場合は、大会終了後に学会ウェブサイトに記載されている要領に従ってご注文下さい。

※ 宿泊先の紹介や斡旋はありません。各自でご予約下さい。会場付近の駅に宿泊施設は多くありません。立川駅周辺が比較的便利です。早目のご予約をお勧めします。

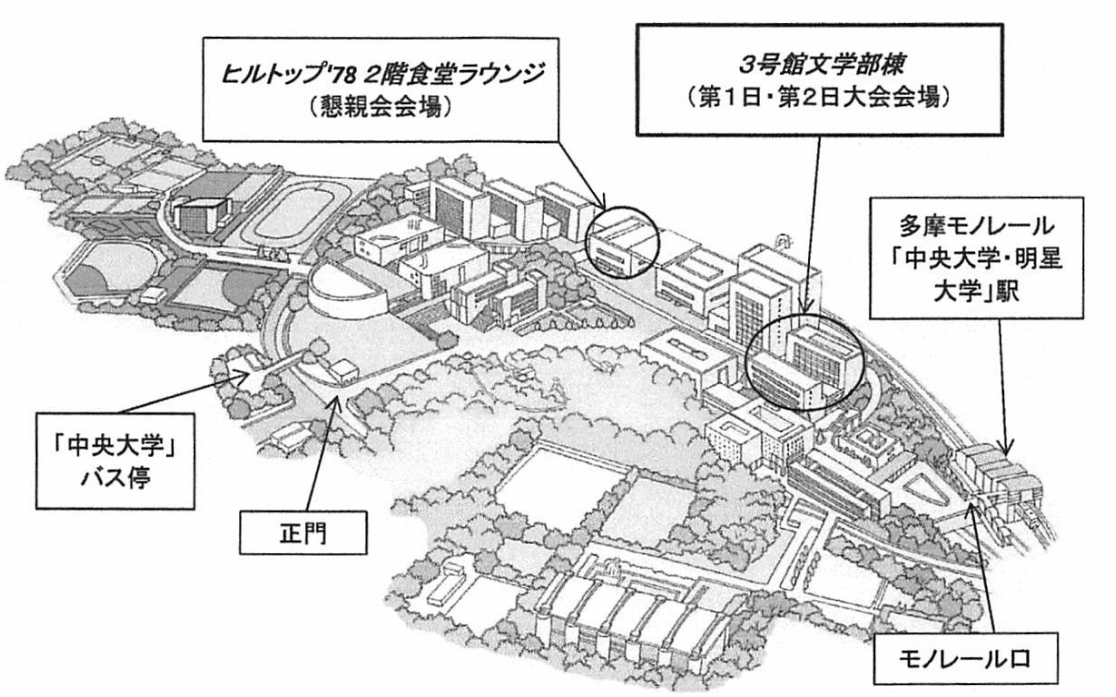
※ 会場に学会事務局のカウンターは設置されません。学会費納入・学会費領収書発行等の手続きは行いませんのでご了承下さい。

※ 建物内はすべて禁煙です。屋外の指定の喫煙所をご利用ください。喫煙所の場所は受付でお尋ねください。

※ キャンパスはこの時期、都心より気温が若干低くなることがあります。服装にご注意ください。

※ 中央大学では eduroam を利用することができます。

◆多摩キャンパス構内案内図

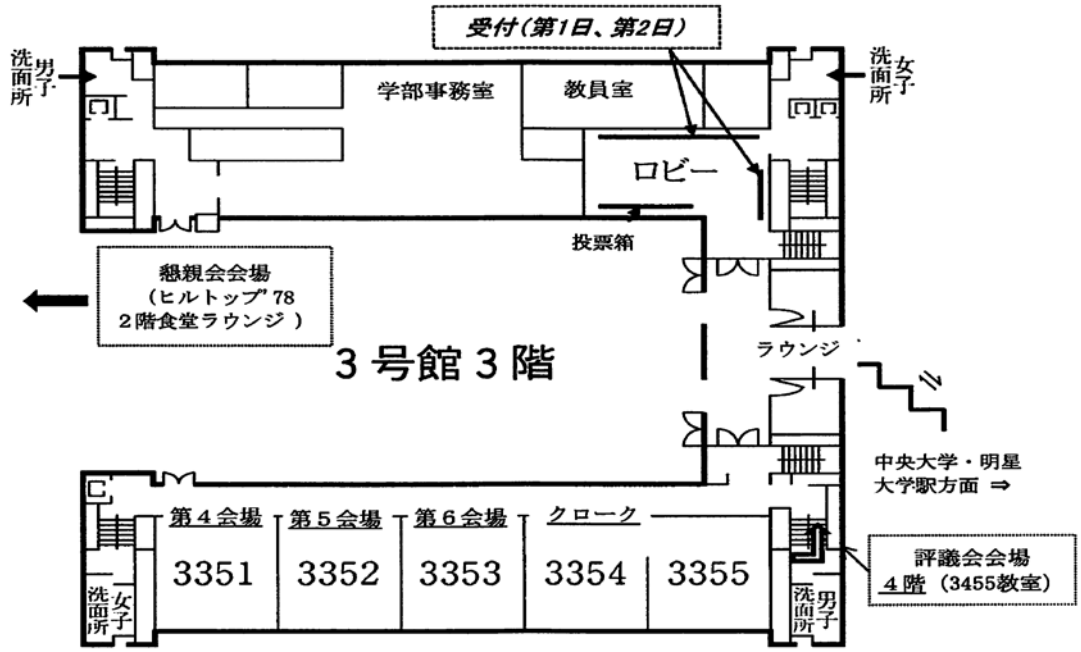


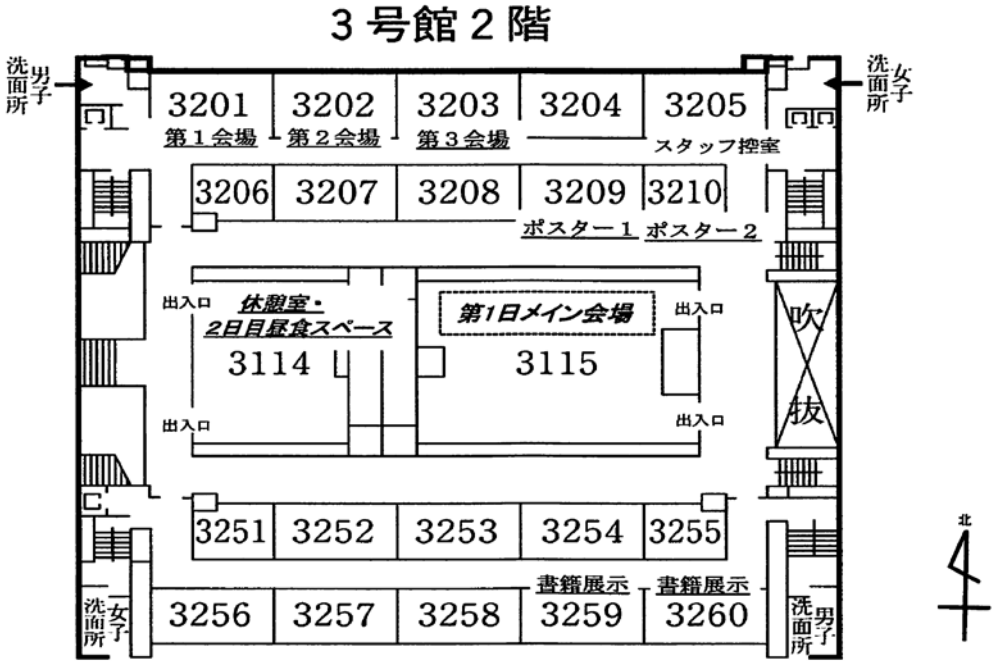
※ モノレール口を出て右手に「中央大学」のロゴが見える建物が大会会場となる３号館です。受付とクローク（荷物預かり）は、第１日、第２日とも３号館３階に設置します。モノレール口からお越しの際は、通路階段を使って３階にお進みください。

※ 大会会場から懇親会会場に向かう際は、３号館３階の外にある通路をキャンパスの奥側へお進みください。２００メートルほど直進すると右手に「ヒルトップ'78」の１階入り口がございます。懇親会はその建物の２階で行います。

※ 懇親会会場には荷物置き場を設置します。クロークは３号館（3354 教室）のみとなりますのでご承知おきください。クロークは懇親会が終了するまで開室しております。

◆11 月 11 日（土）、12 日（日）会場配置図

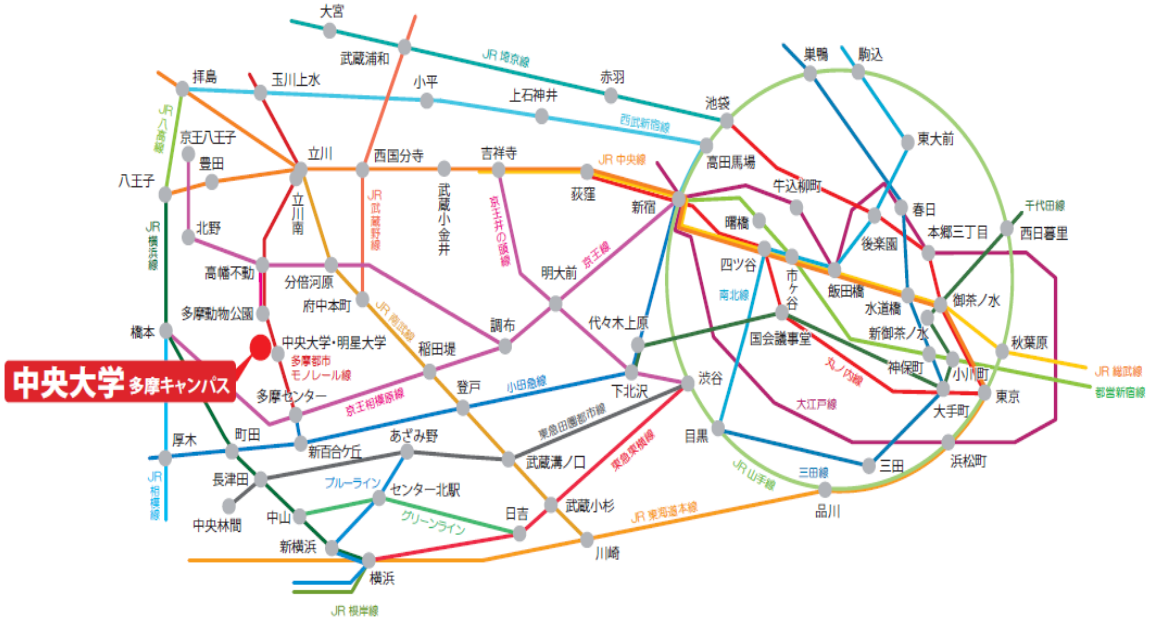




【受付・クローク】

第１日、第２日とも３号館３階に設置します。

◆多摩キャンパスへのアクセス



●多摩モノレール「中央大学・明星大学駅」直結　徒歩 0 分

※モノレールは下記の駅から接続しております。（　）内は目安となる所要時間です。

西武拝島線「玉川上水駅」（28 分）

JR 中央線「立川駅」（22 分）

京王線「高幡不動駅」（7 分）

京王動物園線「多摩動物公園駅」（2 分）

京王相模原線「京王多摩センター駅」（12 分）

小田急多摩線「小田急多摩センター駅」（11 分）



●京王動物園線「多摩動物公園駅」から徒歩約 10 分

●京王相模原線「京王多摩センター駅」下車、バス（13 番バス停）で約 12 分

●小田急多摩線「小田急多摩センター駅」下車、バス（13 番バス停）で約 12 分

●JR 中央線「豊田駅」下車、バス（4 番バス停）で約 15 分

※駐車場はご利用できません。ご来校は公共交通機関をご利用ください。

※会場までのアクセスは、http://www.chuo-u.ac.jp/access/　でもご覧いただけます。